信実の愛を問う。

※この作品はフィクションです。実在の人物・団体・名称等とは一切関係ありません。

巨弾78ページ!!

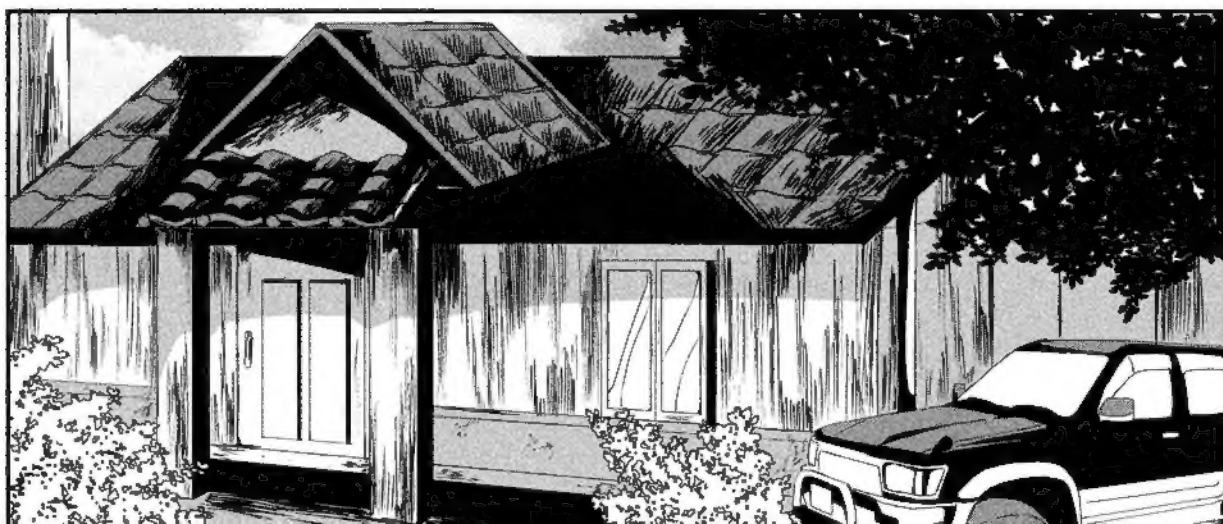
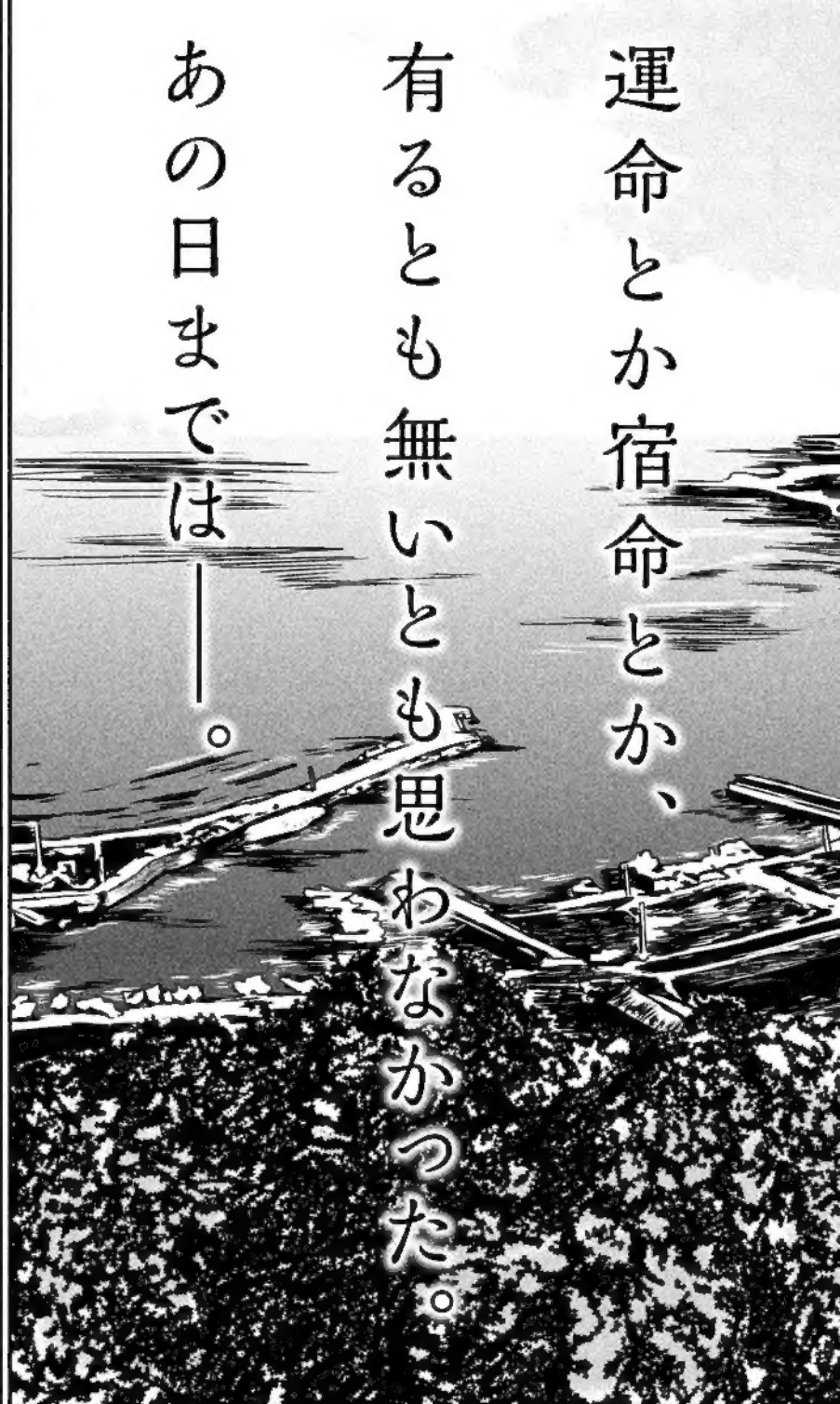
驚天動地のバイオ・メロ読み切り

連理の枝

下川咲

四季賞2015年秋のコンテスト大賞受賞者

あの萩尾望都氏が激賞した新鋭が

早くも再登場!!

運命とか宿命とか、
有るとも無いとも思わなかった。
あの日までは――。
……寒ぅい
ヒュウ
わっ

啓ちゃん朝だよ！起きて

お日さまが気持ちいいよ

あっ
ほら

も〜〜〜〜…

庭のリンゴ
今年もたくさん
できてるよ
また村の人に
おすそわけ
できるね！

寒い
窓
閉めてくれ

ゆさ ゆさ
ねぇ 啓ちゃんが 言ったんだよ
田舎の空気は 澄んでて いいって
Webデザイン なんて 在宅仕事だし どうせなら 静かな田舎で 暮らしたいって
引っ越そうと 思うんだが
えー!!
もう家も 買って しまった
ええー!!
ドン
まずは 草刈り からだな
安い わけだよ
パーー
ねっ 勿体ないよ
朝の きれいな空気 吸っとこうよ

田舎の空気は
飽きた
……

啓
ちゃ
ん
ってば
……
ゴロ
ゴロ
瑞貴
リンゴは一気に収穫するな
二人で食べられる分だけにしろと
去年も
去年 何かあったっけ？
きみが大量のリンゴを使い切るため
大量のリンゴパイを作った
あぁそういえば
きみは作るくせにあまり食べないから
ほとんどをオレが処理した
ひどい
処理だなんて

確か近所に双子の家があっただろう
優くんと秀くん?優秀兄弟!
そこに分けてやれ子どもならいかにも喜ぶ
ううんだめだよ
あの二人とってもも少食なの
へぇ…

月刊アフタヌーン
次号5月号は3月25日㊎発売!!

育ち盛りだろうに
…………
コメントが老けてンだよネ なんか

ん…

どうした?
あっ
ううん

最近 たまに息苦しくて
少し調子がよくないみたい
またか
ここに越してきてからずっとそうだな

医者には行ったか?
大したことないと思うんだけど
また そのうち和田先生に診てもらいに行こうかなぁ
もっと大きな病院へ行けよ
あんな小さな村医者風情に病気がわかるもんか

モーロクしてんだ
こないだなんかきみの付き添いのオレに注射を打ちやがった
栄養剤だから大丈夫だとか言ってたが
あいつは全然信用ならんぜ

瑞貴
きみみたいな若い子にはここはしがない田舎かもしれないが
一応は政府の開発支援地域とやらで
住めば色々と社会保障なんかも手厚いんだぜ
じと…
それにオレは一人でいいと言ったぞ
ついてきたのはきみだろ
うっ

電子版アフタヌーン配信やってます!!
4月号がほぼ全部読める～
各電子書店でご購入できます。
電子版
詳細はコチラ
http://afternoon.moae.jp/news/656

だって啓ちゃん放っとくとインスタントしか食べないじゃん
生活リズムも不規則だし
私がちゃんと見ててあげないと死んじゃうよ

まだ十代のクセして母親のような口をきく
早く老けるぞ
イヤならさっさと面倒見てくれるいいお嫁さん見つけてきなよ

この齢にもなるときみの世話だけで手いっぱいだよ

………
ムム～

今日は一段と寒いな
ストーブを出して薪を用意して
やることが山積みだな
雪になるならタイヤも替えなきゃならん
全部終わらないうちに雪が降り出してしまう
大丈夫だよ当分は――

退屈なくらい平和だよォ

啓ちゃんのつまんないとこだよねー
仕事に集中しすぎるのはー

行き詰まってるなら休憩しなきゃ
私に素敵な提案があるよ

暖かいブランケットにくるまって
一緒にお気に入りの映画を観るの

おい気をつけろよ……

……瑞貴？

瑞貴！

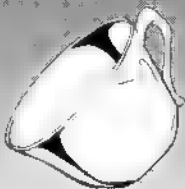
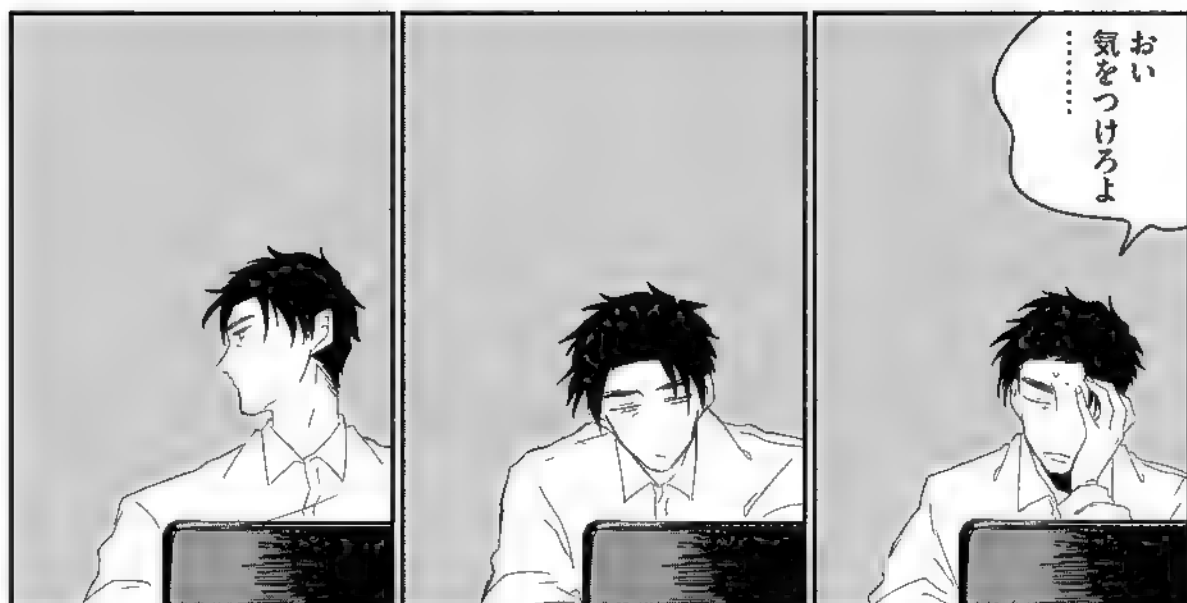
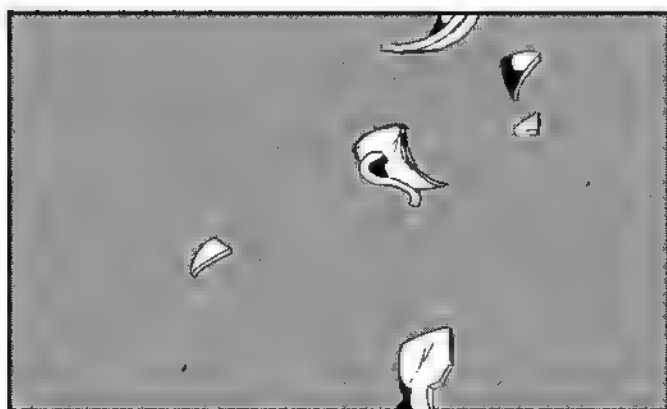
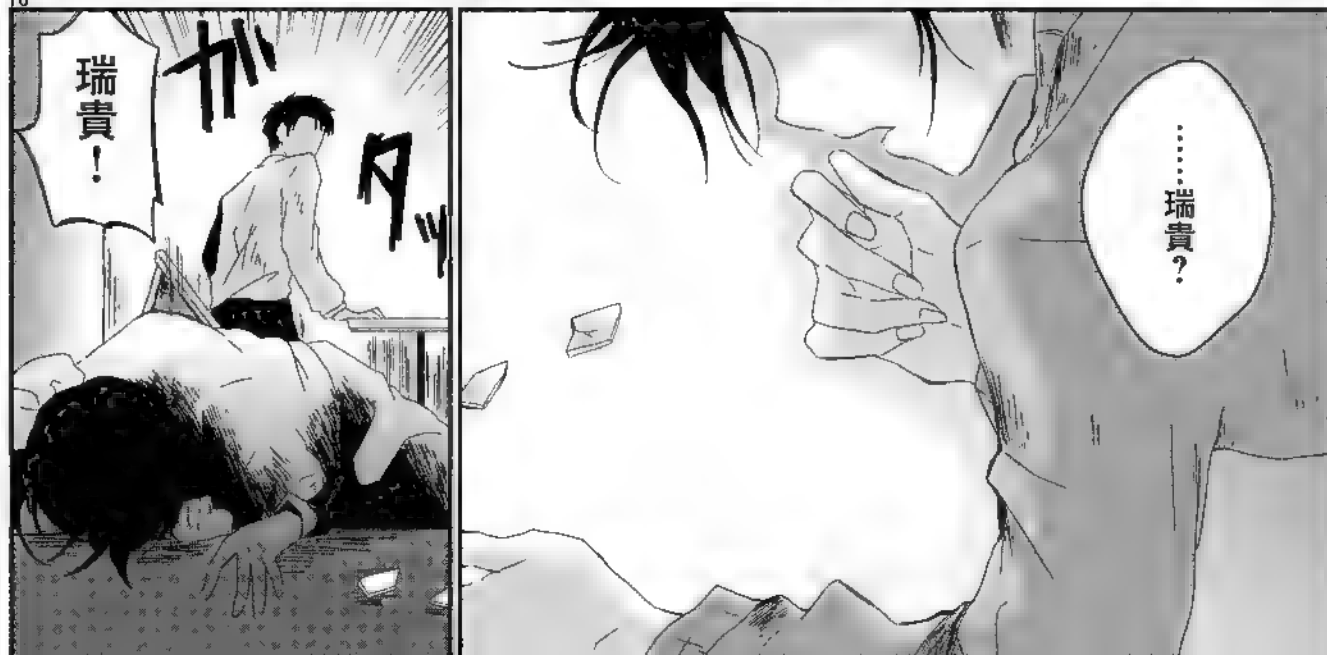
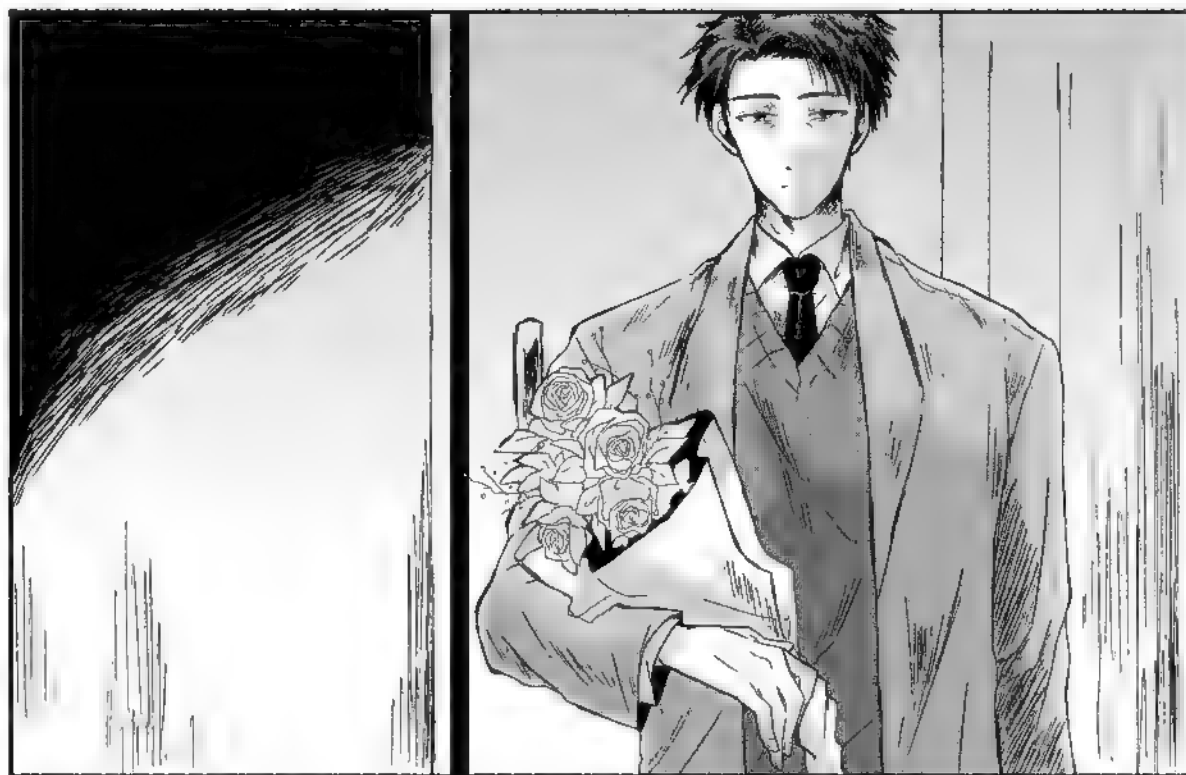
ガバ

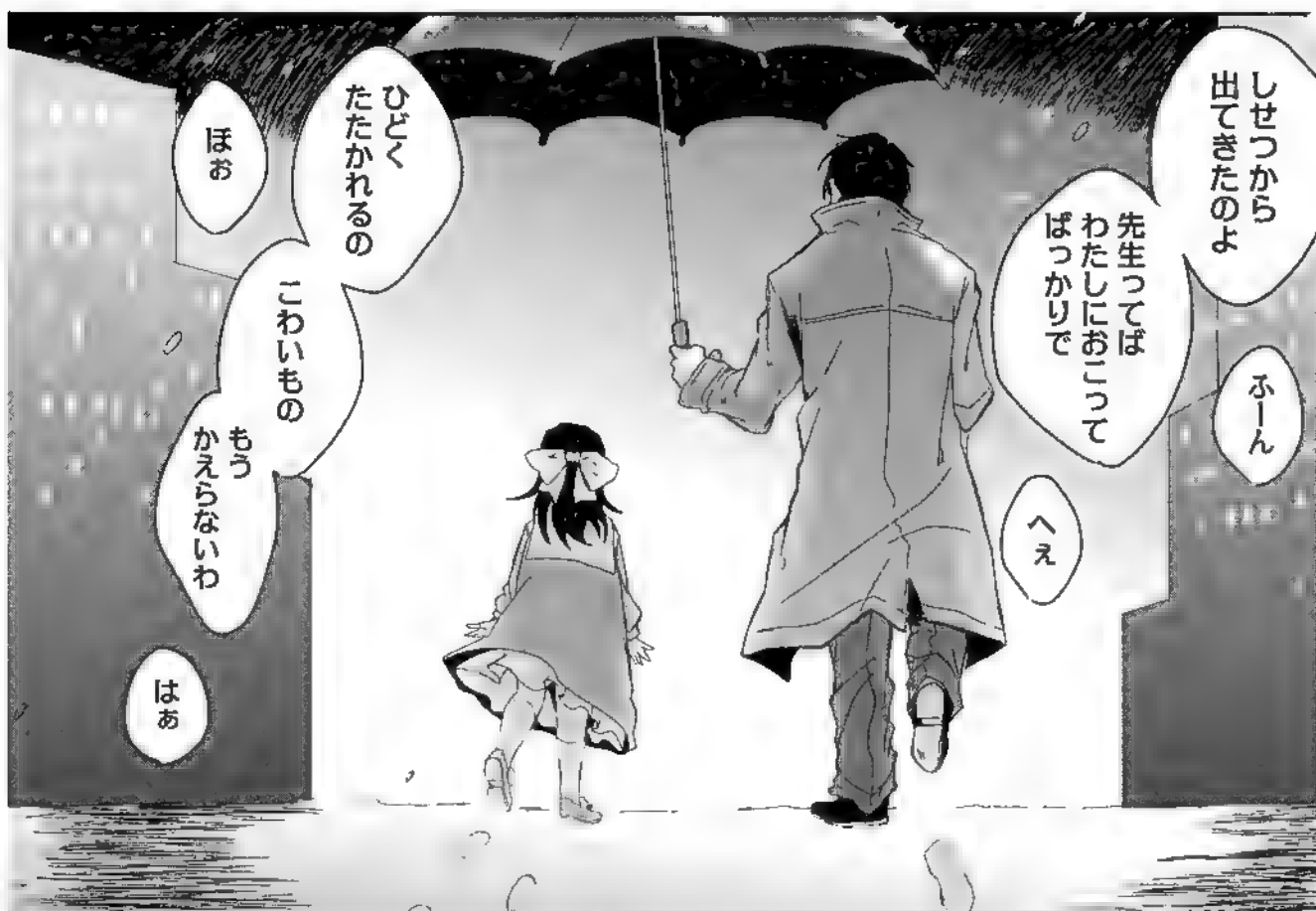
タッ

何だ　これは?

何が起こっている？

や——!!

びっくりした
びっくりした!

ごめんねー
驚かせちゃって
軽い貧血みたいな
ものなんだって
少しだけ入院が
必要みたいなんだけど
すぐに
よくなるから
あまり心配
しないで
瑞貴
なぁに?
きみは
昔から
嘘をつくのが
下手だ

どうして笑うんだよ

瑞貴さんの体内そこら中に
文字通り根を張っている
骨
臓器
筋肉
おかまいなしにね

切除だとか
引っこ抜くとかは……
——検査の途中で判ったことですが

アレ自体に生存本能が強く働いており
外部からの刺激に対しては
自身に危険が迫ったと感じ
その分性急に分裂する

「植物」に手を出すのは
瑞貴さんの命を徒に縮めるだけです
今の医学ではもう手の施し様が無いんです

どうしますか？
もし言いづらいようであれば
親族の方に我々からご説明することも可能ですが
……斉藤さん？
説明……
あぁ…
必要ありません
瑞貴は
孤児ですから

迷子か？
家どこだ？
…ない
は!?
………
ミナシゴか…
こりゃ関わると面倒な……
ぎゅう
ぐいっ

しせつから出てきたのよ
先生ってばわたしにおこってばっかりで
ふーん
へぇ
ひどくたたかれるの
ほぉ
こわいもの
もうかえらないわ
はぁ

おじさんのパパとママはやさしい？

おじ…

なんと

まだ28だぞ…

父も母も オレがお前くらいの時に死んじまったよ

事故で

雪……
啓ちゃん
一人で
寂しく
ないかなぁ

瑞貴への投薬は日に日に増える

オレを
慰めるためだ

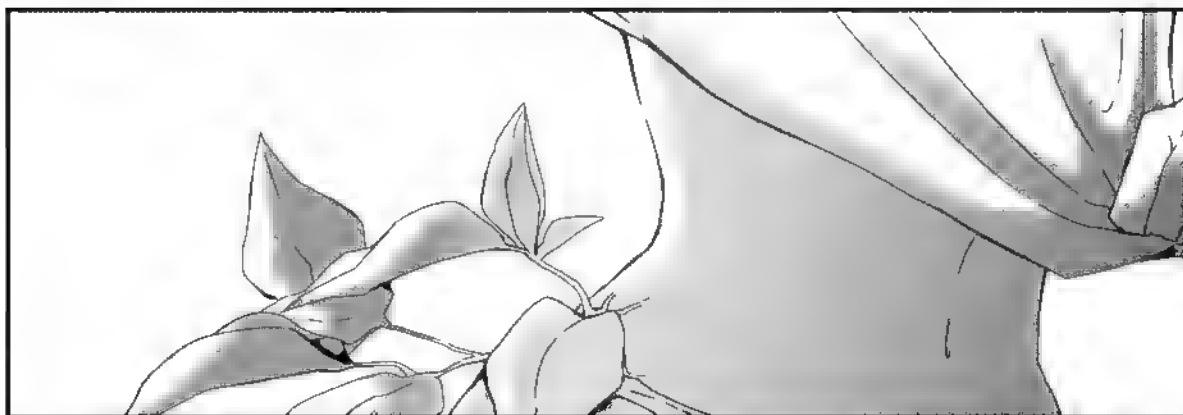
きみは それが
叶わないことを
知っているの
だろう

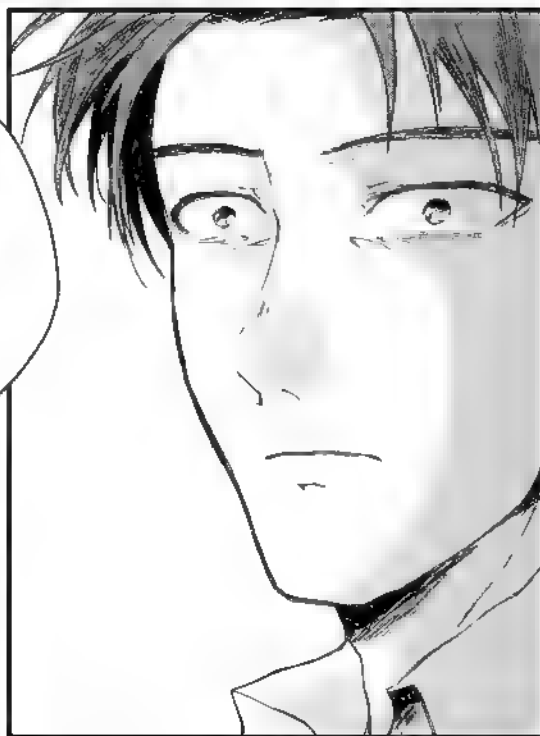
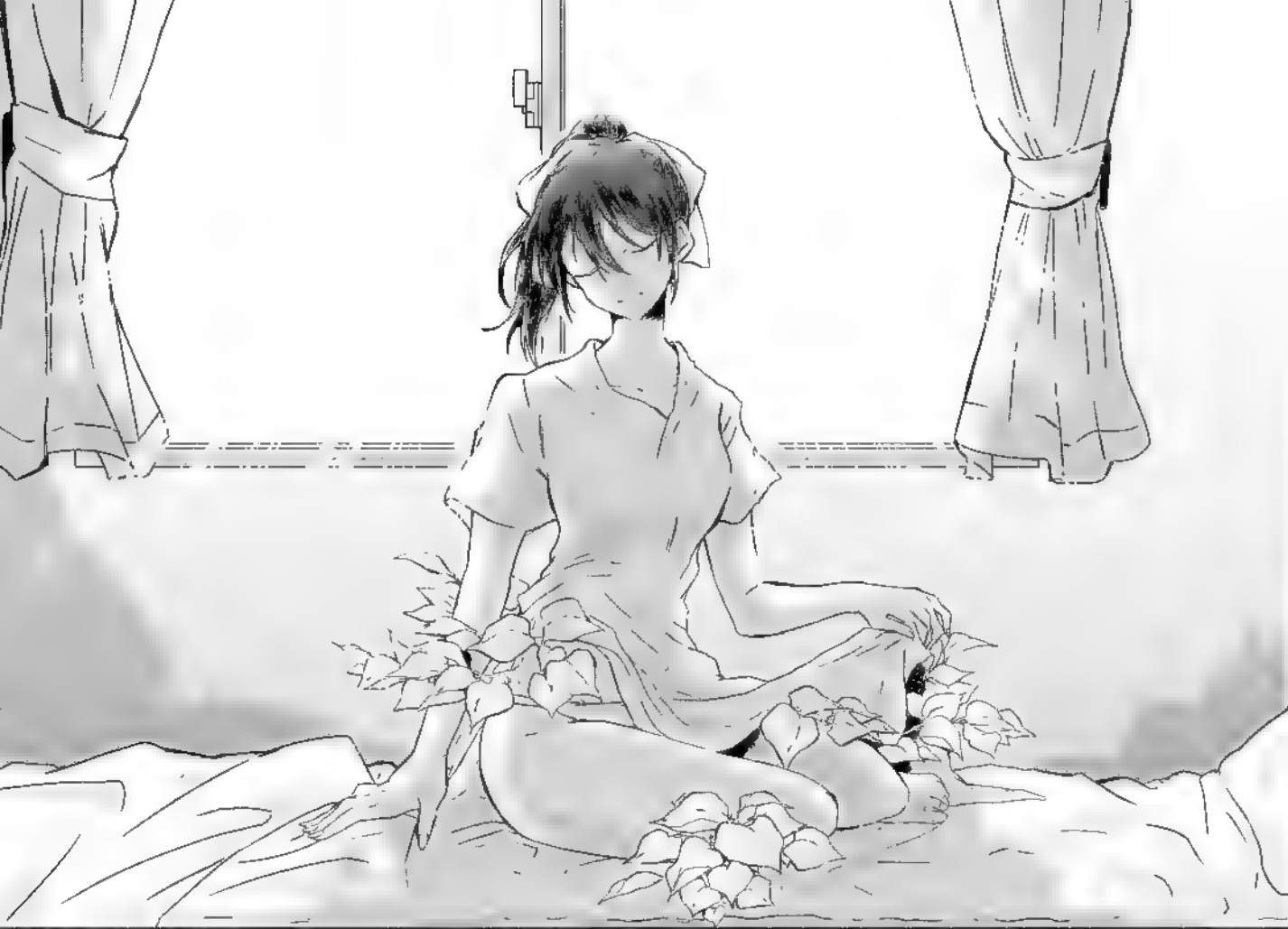
もぉ
そんな顔
しないでよ

この病気も
悪いことばっかり
じゃないんだよ？

太陽の光を
かすめて
葉っぱが半透明に
光ったりして

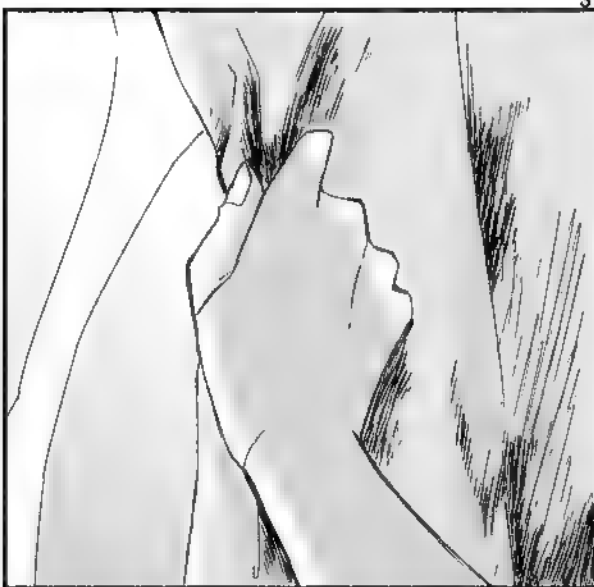
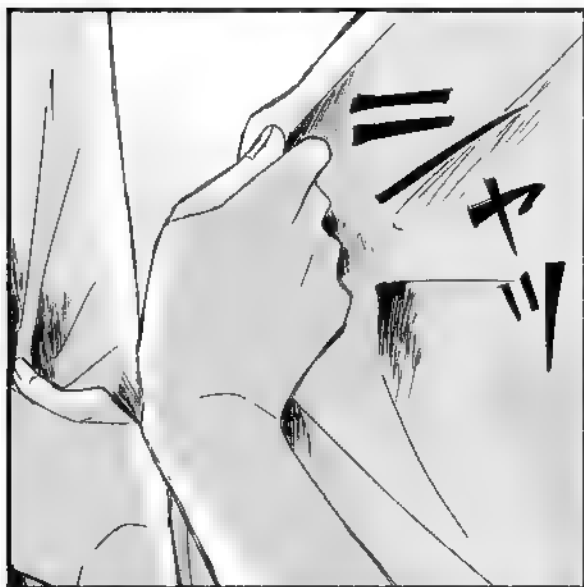
キレイに
見えるでしょ？

美しいものか

きみを殺す植物だぞ

花でも
咲くなら

もっと
キレイなのにね

……美しいものか

嘘が下手な
瑞貴

それでも
きみは
泣いたりしない

瑞貴さんの身体の植物は
日光を感知することで働きが活性化するようです
…光合成……

近いうちに地下の病室に移動しましょう
日光を完全に遮断しなければなりません

瑞貴の身体は今やまるで本物の植物だ

光を浴びることも
できないなんて

瑞…
ねぇ啓ちゃん

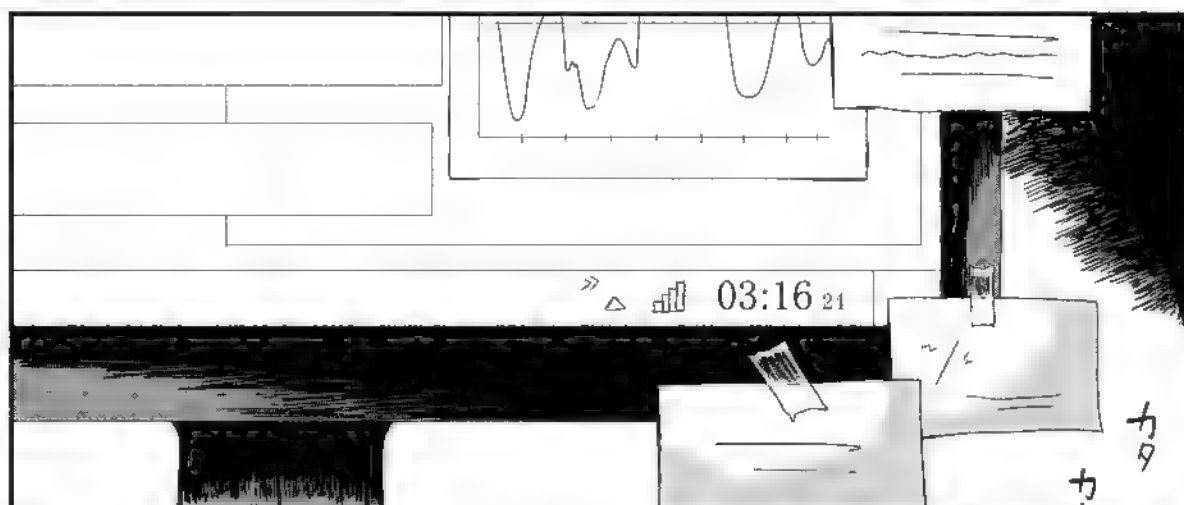
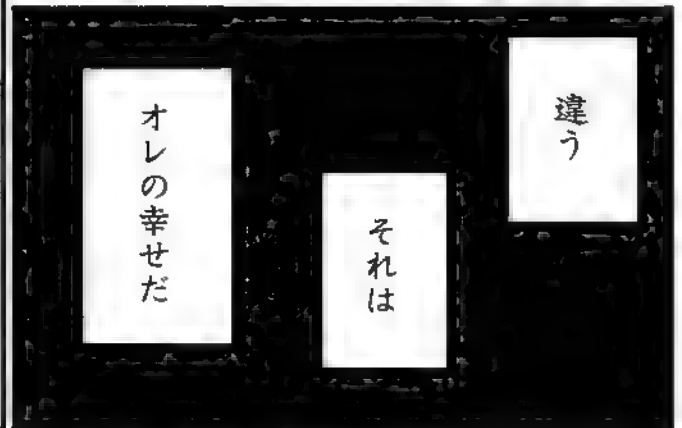
「本物の木」になってしまうのと
このまま頑張るのじゃ
どっちが幸せかなぁ

……バカを考えるなよ
きみのままでいる方が
いいに決まってる

…そう
じゃあ私たち

一緒におでかけ
できないね

――――瑞貴

きみの心は
枯れ始める

「きみのままでいる方が」

「いいに決まってる」

37

休憩しようよ
おいしい紅茶 煎れてあげるから

どうすることが
きみの幸せだろう

…………
紅茶の場所すらわからない男が
いくら考えたところで……

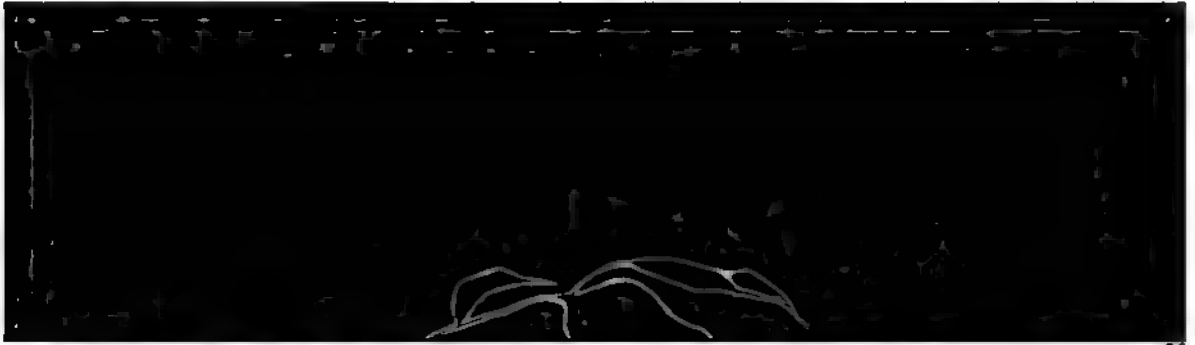
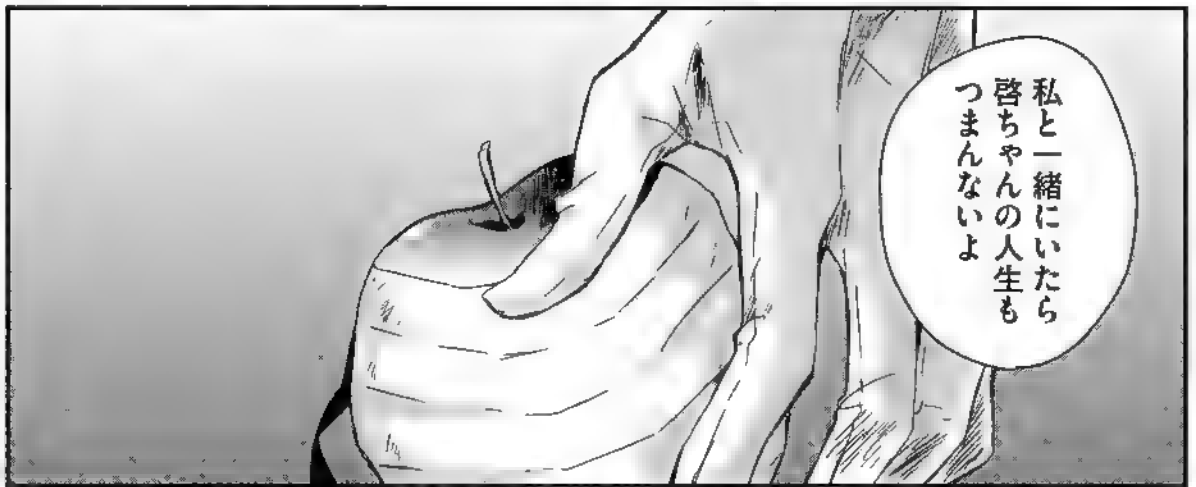
…………!!

……何がだ？

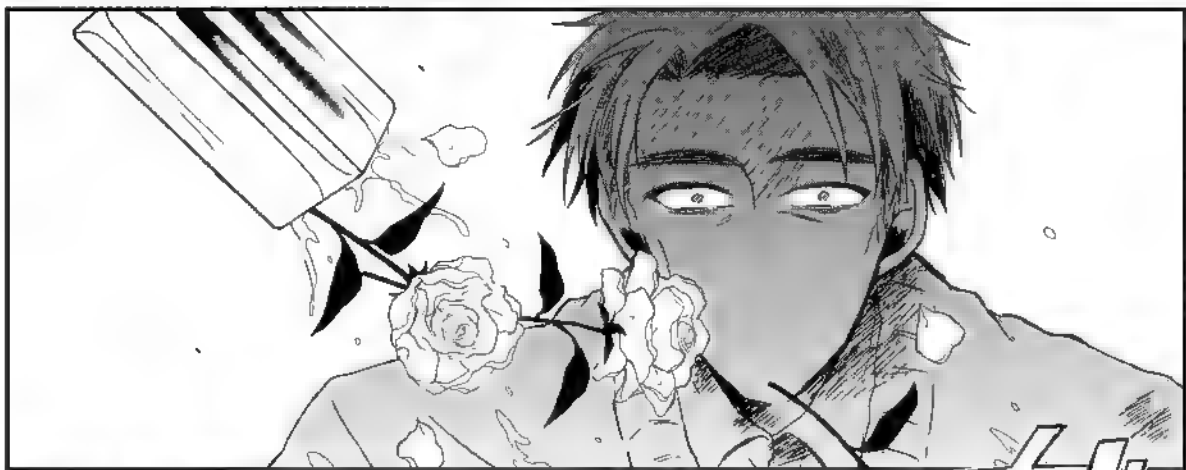
啓ちゃん

もう
来てくれなくて

いいよ

……？
瑞…
私 もう 自分で 歩けないもん

買い物にも 行けないし
ご飯だって 作って あげられないし
でも啓ちゃんに してもらわなきゃ なんないことは たくさん増えるし

私と一緒にいたら 啓ちゃんの人生も つまんないよ

いいこと 一つも 無いんだよ
だから

もう私のこと 気にしないで いいから
瑞貴

バカを言うなよ
そんなことできるわけ…
ガチャン
……ずっと思ってたんだけどさ…
こ・ん・な病気の私に
花なんて
なんだか少し嫌味だよ

啓ちゃん
昔から
気を遣うの
下手なんだ
もん
毎日自分の
時間削って
病室通って
花替えて…
似合わ
ないよ
木になる
女の子なんか
さっさと見捨て
ちゃいなよ
無理する必要も
無いんじゃ
ないかなぁ
私たち
ただの
他人なんだからさ
違う

それは違う
オレたちの関係は
そんなものでは
ないはずだ
そうだろ瑞貴
啓ちゃん
もう来ないで

枯れた木々の隙間を縫って
葉の緑がやけに匂う

大丈夫？
もう注射にも慣れたわね
ハーイ
もう終わるわよ
優くん
調子はどうかね？
何か変わったことは無いかい？
ううん和田先生
ボクも秀も毎日元気だよ

殆ど食べなくても生命維持が可能な人体を
「造る」…
植物は日光のエネルギーを用いて二酸化炭素と水を糖質に変換し
自身の養分とする
だから地球上のおおよそどこでも繁殖できる

その能力こそ
今の人類に
必要なものだとは
思わんかね？

人体内でのヒトと植物の細胞融合に成功すれば
ヒトは光合成で自ら養分を生成し
食糧難の未来を回避できる

……彼女の身体で起こっている植物細胞の過剰分裂は看過できないケースでは？

……あぁ看過すべきでない重要な情報だ
成人体は植物細胞への順応性が低い
技術が確立されれば胎児レベルからの細胞癒合を行うべきだろう

……不要な感情は抱くものじゃない

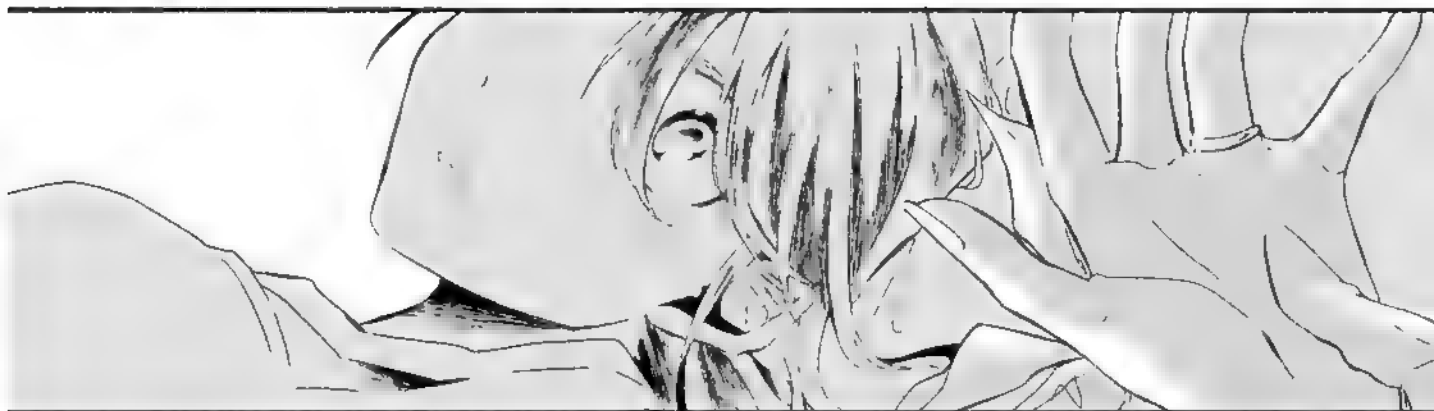
全人類の幸福に繋がる研究なんだ
失敗も
少しの犠牲も
仕方の無いことだろう
どうして政府に逆らえる？
なぁ

……啓ちゃん？

……どうしたの？三日ぶりくらいかな

まぁ……もう来ないと思ってたけどさ

瑞貴…
啓ちゃん
あんまり触らないで
気持ち悪いでしょう?
もう 手も ほとんど感覚 無くなっちゃった
あーあ 勿体ない
啓ちゃんが 手ぇ握って くれるのなんか
久し振り なのになぁ

瑞貴
オレは本当にバカな男だ
どうにもいけない
口下手で不器用もいいところだ
のんきにしすぎて
きみに大事なことを伝え損ねるところだった
……啓ちゃん？
オレに必要なのはきみだけだ
言うのが遅くなった…
瑞貴

結婚
してくれないか
啓ちゃん
啓ちゃん…
嘘でしょ
こんな…
信じられない
嘘…じゃないの……
よく見たい……
………

啓ちゃん
私 もう… 嬉しすぎて 死んじゃいそう〜
死なれては困る
返事を聞かせてもらわないと

ガバッ
わっ

はい

こんな私でよければ

啓ちゃんのお嫁さんにしてください

キャッ…

しっ
騒いじゃ駄目だ
見回りが来る

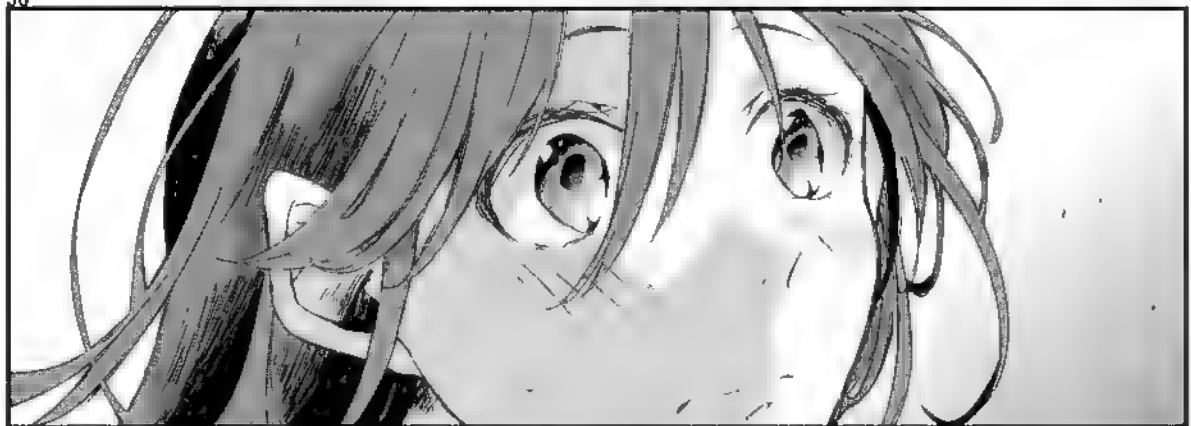
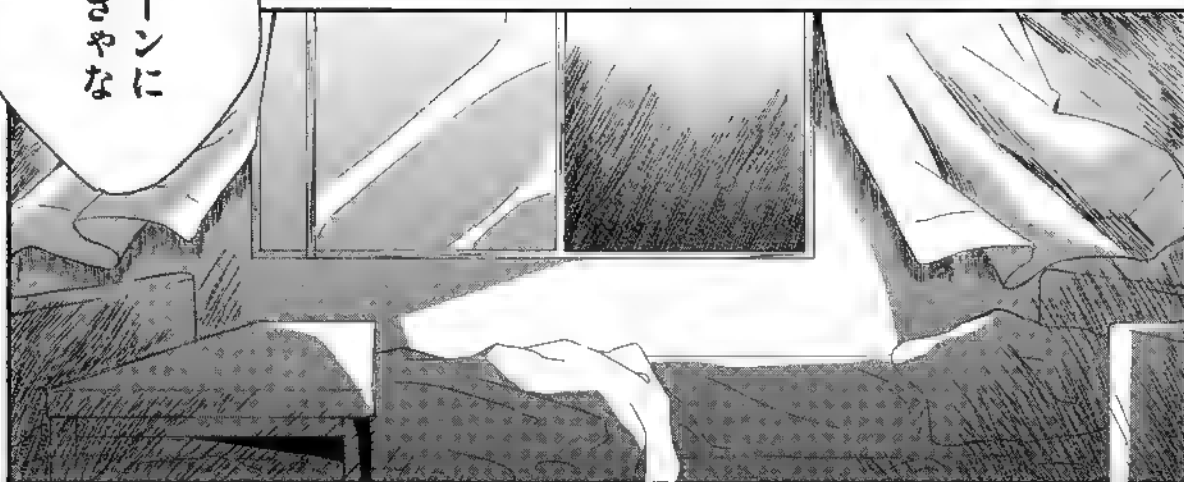
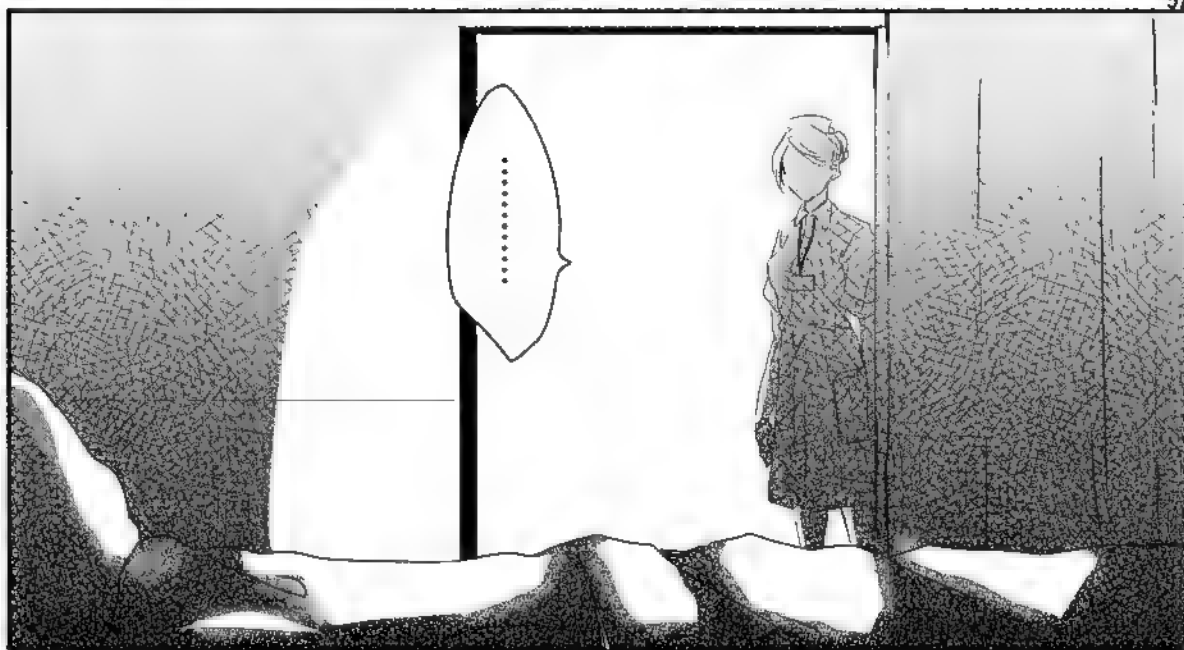
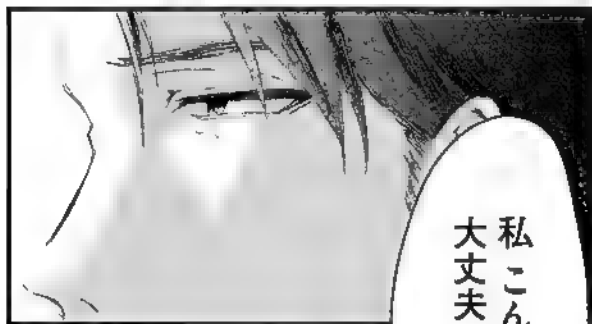
啓ちゃん
何するの？

何って

決まってるだろう

プロポーズに
OKが
出たんだ

次は
ハネムーンに
行かなきゃな
…………

外の空気って久し振りだなぁ
夜のドライブも素敵ね
もう明けるけどな
おい きみ あまり身を乗り出すなよ

でも啓ちゃん
けっこう走ったけど
どこに
向かってるの？

私 こんなだけど
大丈夫？

あ――…
実は もう
……着いて
いるんだ

暗くて
あまり
わからないかも
しれないが……

……あ

「長く伸びた真っ直ぐな」…

「ハイウェイ」……

オレは思っている以上にきみのことを知らなさ過ぎた

精一杯考えたんだが…

きみを連れていってやるべき場所がここしか浮かばなかったんだ

ハイウェイどころか開拓途中で放棄された新道でムードに乏しいんだが……

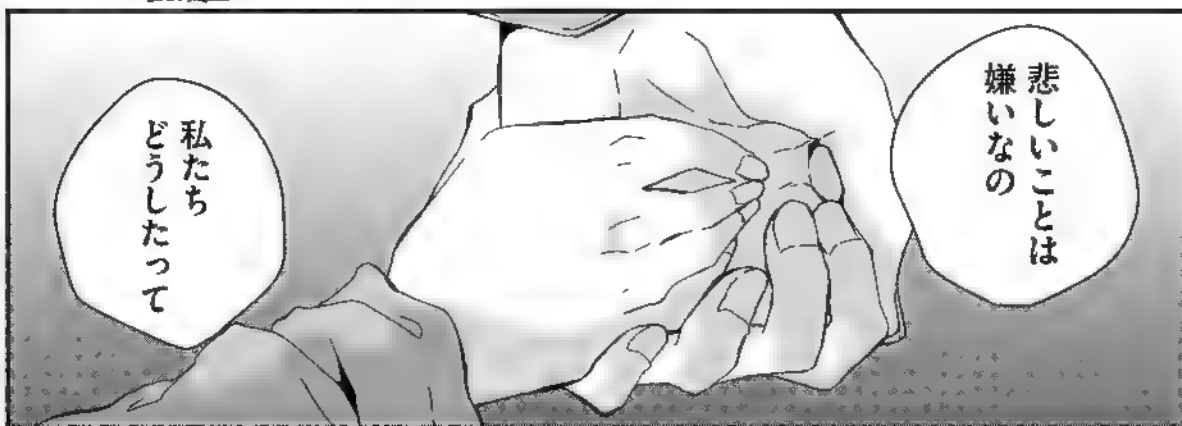
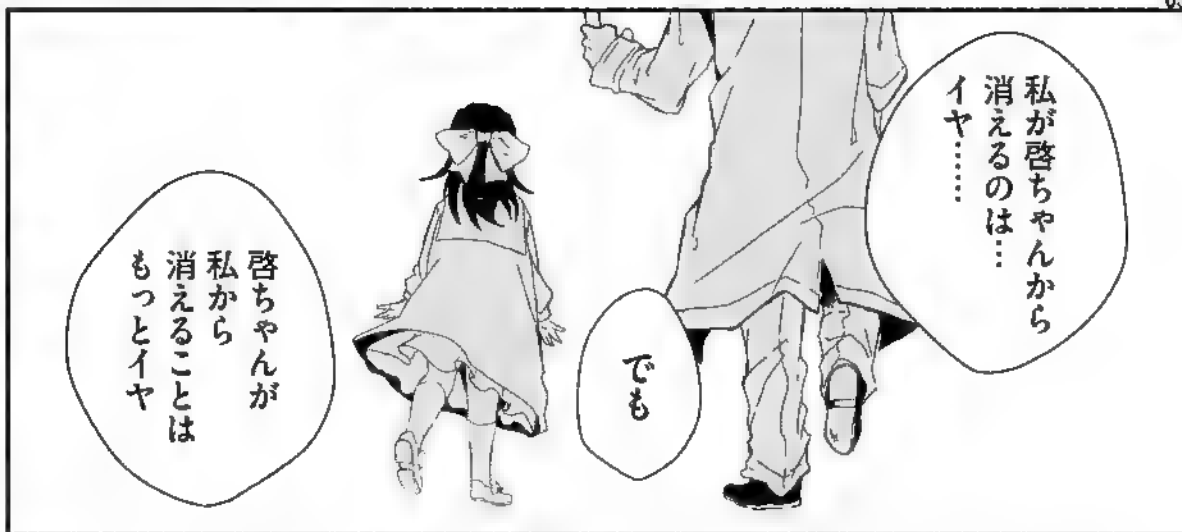
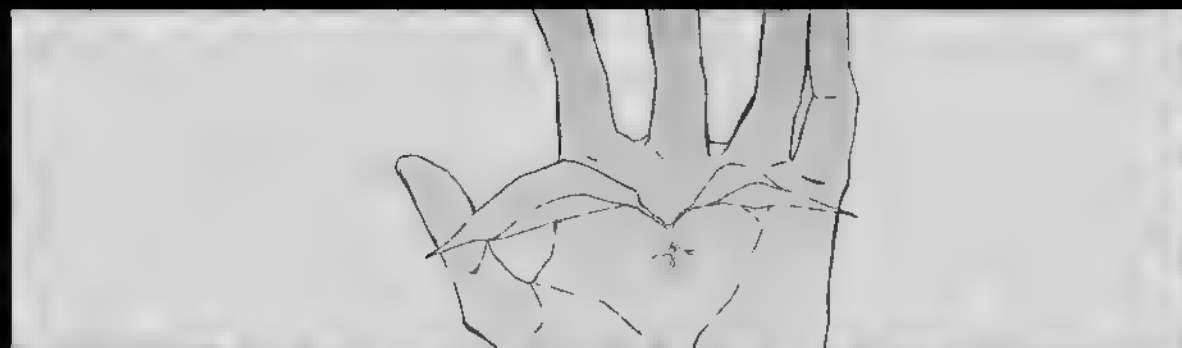
すまない

次はもっと計画を立てて……

ううん

ありがとう
私
すごく幸せ
…だよ……
………
時々…
少し
ほんの
少しだけね
考えるんだぁ
あの日
私たち
出会わなければ
って

悲しいことは嫌いなの
私たちどうしたって

63

ねぇ 啓ちゃん
今なら まだ
間に合うと
思うの
いつかの
お返しだね
啓ちゃんは
昔から
嘘をつくのが
下手だよ

啓ちゃん
もういいよ
ありがとう
ねぇ
病院へ戻って
治療を受けなよ
……
私の最後のワガママだよ？
啓ちゃんには生きてほしいな
瑞貴…
これは中国の伝承なんだが…
「連理の枝」を知っているか

隣り合った二本の木の
枝と枝が絡まって
そうして別々の二本だったそれらは
最後には
同じ一本になるんだ

……さぁ
夜明けだ

……きれい

わかったよ
啓ちゃん
でも
なるべく
ゆっくり
歩いて来てね
寄り道
したって
いいんだよ
私なら
いつまででも
待ってて
あげるから
さ

…ピンポーン

76

斉藤さんなら
ずうっと前から
留守みたいだよ
家から音が
しないもの

へぇ
そうかい
どこかに
旅行にでも
行ったのかね
そうかもね
仲の良さそうな
夫婦だったから

二人で
うんと遠くまで
出掛けたんじゃ
ないかな

下川咲さんの次回作にご期待ください